

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【湯山中学校】

＜第1学年：SDGs 学習（防災）「逃げ地図作り」＞

ハザードマップを参考に、白地図に避難経路を距離によって色鉛筆で色分けする活動を行った。いざ、災害が発生したとき、どのような経路で避難するのがよいのか、避難所までどのくらいかかるのか、短い糸を使って、実際の距離も考えながら確認していった。細かい作業で、大変なところもあったが、自分たちの地域の避難場所等を改めて知ることができた。各班で作業を行い、互いに発表し合い、「避難場所がこんなに多いとは思わなかった。」「きちんと知っておくことができてよかった。」などの感想が出た（写真1、2、3）。



【写真1】



【写真2】



【写真3】



＜第2学年：SDGs 学習（環境問題）「EXPO スクールキャラバン SDGs 学習」＞

講師として、坊っちゃんスタジアムや大洲城の建設に関わった「安藤ハザマ」社員や EXPO スクールキャラバン事務局の方に来ていただいた。「コンクリートが地球温暖化を防ぐ？」という実験を行った。水酸化カルシウムが入った袋に酸素や二酸化炭素を入れて、どのように変化するかを観察した。この水酸化カルシウムという物質はコンクリートが固まる過程で生成されるものである。実際の変化を目撃し、コンクリートがCO₂を吸収することを知った生徒たちは、歓声を上げ、質問や感想、意見発表などを積極的に行った。「環境に優しい」をテーマに開発されたCPコンクリート（CO₂の吸収率をもっと上げたコンクリート）は、実際に大阪万博でも、ベンチ等に使われるということである（写真4、5）。



【写真4】



【写真5】

